

トキ野生復帰にむけて

私たちのまち佐渡市は、恵み豊かで美しい海、緑豊かな山々を有し、四季折々豊かな自然の恵みを受けながら、伝統と歴史のある文化を育んできました。日本固有の野生種として絶滅したトキもまた、このような豊かな自然の恵みを受け、私たちと共生していました。

いま、世界的にも類例の少ない、絶滅した鳥類を飼育下で繁殖し、再度野生に復帰させる取り組みが、佐渡市で行われようとしています。環境省・新潟県・佐渡市では、トキの野生復帰に向けた取り組みを進めるに当たり、皆さんからのご理解とご協力を得るため、トキの野生復帰を推進する上での基本的な考え方についてお知らせします。

第1回 テーマ

「トキの天敵対策と外来生物対策について」

1 トキの天敵対策

トキの天敵として心配されているテングについて、新潟県は平成13・15年度に生態調査を実施しました。

① テングの食性

テングは、餌については雑食であり、鳥類等を積極的に襲い食べる肉食獣というイメージとは異なるものでした。季節、場所により食べ物を変えていることが判りました。(春・夏 主に昆虫、夏・冬 主に果実)年間を通して小動物(ネズミ、モグラ、鳥類)は食べるものの、その割合は低く、その中の鳥類の比率はごくわずかでした。

② テングの樹上行動

テングの特徴的行動である樹上行動については、人為的に巣と卵を設置し観察したところ、巣を襲うこともなく、積極的に樹上を利用するわけではなく、いことがわかりました。このため、営巣期に営巣木の幹に「ネズミ返し」的なものを設置すれば十分に防ぐことが可能であると判断されます。

③ テングの生息数

1959年(昭和34年)に移入されて以来広く分布するようになり、調査の結果、佐渡島全体では約2000頭生息していると思われませんが、地域によって差があり、大佐渡地域では約1300頭、小佐渡地域においては生息密度が低く約700頭と推定しています。そして、従来から生息しているタヌキとも共存関係を保っていると判断されます。

以上のことから、トキの野生復帰に向けテングを絶滅すべきとの意見も一部にありますが、注意すれば十分に防衛でき、脅威とはならないものと考えられます。むしろ、巣と卵を設置した実験ではすべてカラスに襲われていたことを考えあわせると、カラス対策が重要になってくるものと考えられます。



2 外来生物としてのテング

「特定外来生物に関する法律」が平成16年公布されました。

この法律は、我が国の生態系、人の生命、農林水産業に被害を生じさせ、または生じさせる恐れのある外来生物を「特定外来生物」として指定し、その飼養、栽培、輸入等を禁止するほか、その防除等により被害を防止することを目的としています。

生態学的に外来種といえは、国内の

別の地域から移入したものも含みますが、この法律では我が国に本来生息・生育しておらず、かつ海外から導入される生物のみを外来種としました。このため、佐渡に生息しているテングは、この法律の対象にはなりません。

環境省自然環境局
北関東地区自然保護事務所新潟支所
新潟県県民生活・環境部環境企画課



民生委員・児童委員の退任者について

平成十六年十一月三十日をもって民生委員・児童委員を退任された方々をお知らせいたします。

(敬称略・50音順)

民生委員・児童委員

両津地区

(両津中地区)

- 神 藏 和 昭
- 神 藏 久 久
- 後 藤 節 子
- 星 野 兵 一
- 細 川 哲 夫

(両津東地区)

- 市 橋 芳 夫
- 佐 藤 久 子
- 志 田 敏 男
- 本 間 忠 雄
- (両津北地区)
- 本 間 太 郎
- 水 口 ヨ シ
- 山 本 満 雄

相川地区

- 菊 池 治 己

佐和田地区

- 稲 葉 清 子
- 岩 崎 芳 子
- 長 嶋 敬 吉
- 蜂 屋 正 男
- 本 間 音 吉
- 本 間 陽 子
- 村上 光 代
- 山下 暁 子

金井地区

- 計 良 ハツエ
- 仲 野 英 隆
- 長 藤 榮 子
- 林 藤 栄 子
- 本 間 エミ子
- 本 間 町 子

新穂地区

- 市 橋 三 千 雄
- 伊 藤 雅 晴
- 河 野 邦 夫
- 城 野 卯 朔

畑野地区

- 川 上 サ ヲ
- 斎 藤 優 子
- 菅 川 文 枝
- 土 屋 初 枝
- 中 川 光 夫
- 橋 本 常 夫
- 羽 根 洋 子
- 本 間 公 子

真野地区

- 白 杵 ヒサエ
- 遠 藤 泰 勇
- 備 前 明 男
- 松 井 成 代
- 若 林 善 兵 衛

小木地区

- 影 山 松 夫
- 金 子 敏
- 河 野 智 恵 子
- 松 本 多 嘉 一

羽茂地区

- 金 子 明 子
- 金 子 五 郎
- 葛 西 雪 江
- 葛 山 善 一 郎
- 長 尾 吉 日
- 大 和 毅
- 渡 辺 富 枝

赤泊地区

- 安 藤 貢
- 菊 池 達 也
- 若 林 幸 甫

主任児童委員

真野地区

- 大 屋 カホル



▲新潟県知事メッセージ
(五十嵐健康福祉環境部長)



▲退任式及び要職状伝達式

地域のためにご尽力いただき、大変ありがとうございました。